ポインティング デバイスおよびキーボード

ユーザ ガイド

初版：2008 年 9 月

製品番号：486599-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 ポインティング デバイスの使用

名称		説明
(1)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(2)	タッチパッド*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(3)	左のポインティング ステック ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(4)	ポインティング スティック*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(5)	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします
(6)	右のポインティング スティック ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(7)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(8)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

*この表では初期設定の状態について説明しています。タッチパッドの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→ **[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

ポインティング スティックの使用

ポインタを移動するには、画面上でポインタを移動したい方向にポインティング スティックを押します。ポインティング スティックの左右のボタンの使い方は、外付けマウスの左右のボタンと同じです。

外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピュータに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスを使用してコンピュータに接続することもできます。

2 キーボードの使用

キーボード ライトの使用

キーボード ライトを使用して、周囲が暗いときにコンピュータのキーボードを照らすことができます。

▲ キーボード ライトを開いて点灯するには、キーボード ライトボタンを押します。

▲ キーボード ライトを消して閉じるには、カチっと音がして所定の位置に収まるまでキーボード ライトをゆっくり押します。

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（**1**）と、esc キー（**2**）またはファンクション キー（**3**）のどれかとの組み合わせです。

f3、f4、および f8 ～ f11 の各キーのアイコンは、ホット キーの機能を表しています。ホットキーの機能および操作についてこの章の各項目で説明します。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn ＋ esc

機能	ホットキー
スリープを開始する	fn + f3
画面を切り替える	fn + f4
バッテリ情報を表示する	fn + f8
画面の輝度を下げる	fn + f9
画面の輝度を上げる	fn + f10
周辺光センサを有効にする	fn + f11

ホットキー コマンドをコンピュータのキーボードで使用するには、以下のどちらかの手順で操作します。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

システム情報を表示する（fn + esc）

fn + esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn + esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

スリープを開始する（fn + f3）

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

fn + f3 キーを押すと、スリープが開始します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始する前に、コンピュータの電源が入っている必要があります。

注記： コンピュータがスリープ状態のときに完全なロー バッテリ状態になった場合、ハイバネーションが開始し、メモリに保存された情報がハードドライブに保存されます。完全なロー バッテリ状態になった場合、工場出荷時設定ではハイバネーションが開始しますが、この設定は Windows の[コントロールパネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源ボタンを短く押します

fn + f3 ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように fn + f3 ホットキーを設定することもできます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「**スリープ ボタン**」に関する記述はすべて、fn + f3 ホットキーに当てはまります。

画面を切り替える（fn ＋ f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn ＋ f4 を押します。たとえば、コンピュータに外付けモニタを接続している場合は、fn ＋ f4 を押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイ、コンピュータ本体と外付けモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピュータから動画情報を受け取ります。fn ＋ f4 ホットキーでは、コンピュータから動画情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn ＋ f4 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外付け VGA（ほとんどの外付けモニタ）

バッテリ充電情報の表示（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 を押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリと、各バッテリの残量を確認できます。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f9）

fn ＋ f9 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn ＋ f10）

fn ＋ f10 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

周辺光センサの有効化（fn ＋ f11）

周辺光センサの有効/無効を切り替えるには、fn ＋ f11 を押します。

3 [HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の使用

[HP Quick Launch Buttons]を使用すると、頻繁に使用するプログラム、ファイルまたは Web サイトをすばやく開くことができます。以下の表に記載する工場出荷時設定を使用できます。また、[HP Quick Launch Buttons]の[設定]で[Q Menu]（Q メニュー）を起動して、ボタンを再設定することもできます。

[HP Quick Launch Buttons]には、インフォ ボタン（**1**）およびプレゼンテーション ボタン（**2**）が含まれます。

以下の表に[HP Quick Launch Buttons]の初期設定を示します。

注記： ボタンの機能は、お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって異なります。

	名称	説明
（1）	インフォ ボタン	[info center]（インフォ センター）を起動します。ここには、以下のような機能へのショートカットが含まれています **注記：** お使いのコンピュータのモデルによっては、ここに示す機能のいくつかが搭載されていない場合もあります ● HP Wireless Assistant ● HP ProtectTools スイート

名称		説明
		● HP 3D DriveGuard ● HP ヘルプとサポート ● HP ノートブック オプション製品ツアー ● HP 製品ユーザ ガイド ● HP Connection Manager ● HP Software Setup ● Presto! BizCard 5
（2）	プレゼンテーション ボタン	[Presentation Options]（プレゼンテーション オプション）ウィンドウを開きます。ここで、頻繁に使用するプレゼンテーション、ファイル、プログラム、または Web サイトを起動できます。画面表示を最適な設定に調整することもできます

[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の[設定]へのアクセス

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]にある[Q Menu]（Q メニュー）を使用すると、インフォ ボタンおよびプレゼンテーション ボタンの設定をカスタマイズできます。どちらのボタンも頻繁に使用するプログラムを起動する場合に使用できます。

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面は、以下のどちらかの方法で開くことができます。

- **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。

  または

  通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックして、以下のタスクのどれかを選択します。

  - [HP Quick Launch Buttons]のプロパティを調整する
  - [Q Menu]を起動する
  - プレゼンテーションをオンにする
  - 周辺光センサをオフにする

[Q Menu]（Q メニュー）の表示

[Q Menu]を使用すると、[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の設定にすばやくアクセスできます。

デスクトップで[Q Menu]を表示するには、以下の操作を行います。

▲ タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックし、**[Q Menu の起動]**を選択します。

注記： [Q Menu]の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンを選択してください。

4 [HP QuickLook 2]の使用

[HP QuickLook 2]を使用すると、オペレーティング システムを起動しなくても、[Microsoft® Outlook]の電子メール、予定表、連絡先、および仕事の情報を表示できます。[HP QuickLook 2]が設定されていれば、コンピュータの電源が切れているときやハイバネーション状態のときにインフォ ボタンを押すことで、すぐに重要な情報にアクセスできます。

[HP QuickLook 2]の設定

[HP QuickLook 2]を設定するには、以下の手順で操作します。

1. [Microsoft Outlook]を開きます。

   [Microsoft Outlook]のツールバーに[HP QuickLook 2]の 2 つのアイコンが表示されます。

   [QuickLook 2 Preferences]（QuickLook 2 の設定）アイコンでは、自動データ収集の設定を行えます。

   [QuickLook Capture]（QuickLook への取り込み）アイコンでは、自動取得に加え、[HP QuickLook 2]の情報取り込みを手動で開始できます。

   注記： 大半のタスクでは、[QuickLook 2 Preferences]アイコンを使用します。

2. [Microsoft Outlook]のツールバーにある**[QuickLook 2 Preferences]**アイコンをクリックします。

   [QuickLook 2 Preferences]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 以下の設定を行います。

   - [HP QuickLook 2]で[Microsoft Outlook]から情報を取り込み、ハードドライブに保存する時点
   - 予定表、連絡先、電子メール、仕事で表示するデータの種類

4. 必要に応じてセキュリティを選択して、個人識別番号（PIN）を設定します。

手動での情報収集

事前に設定された間隔で情報収集を行うように[HP QuickLook 2]を設定済みであっても、[Microsoft Outlook]のアカウントにログインしている間は、いつでも[Microsoft Outlook]の情報を手動で収集し、保存することができます。

[HP QuickLook 2]の使用

インフォ ボタンの機能は、コンピュータの電源の状態によって以下の表のように異なります。

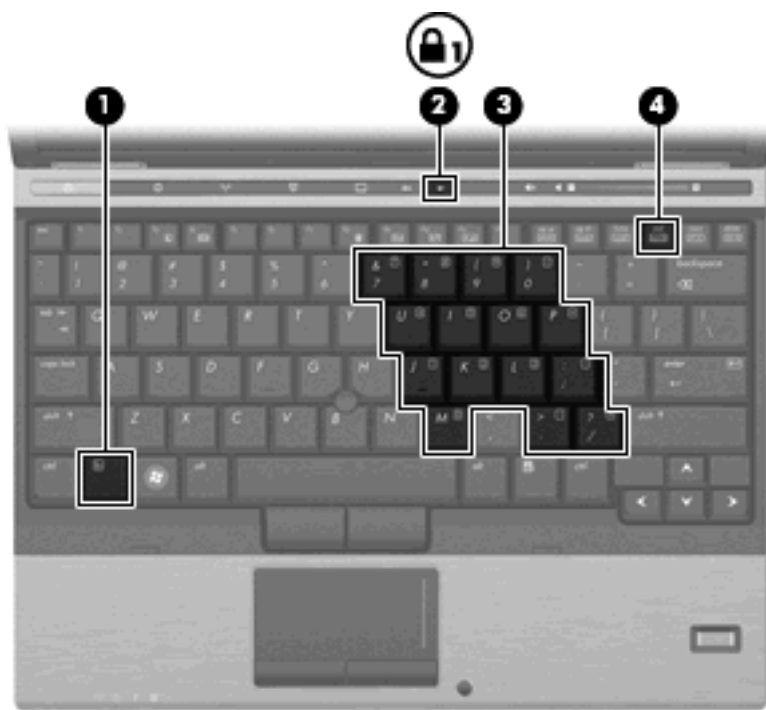
電源の状態	インフォ ボタンの動作
オフ	[HP QuickLook 2]が起動する
ハイバネーション	[HP QuickLook 2]が起動する
オン	[Info Center]（インフォ センター）が起動する
スリープ	コンピュータが前の状態に戻る

注記： [HP QuickLook 2]は、出荷時の設定で有効になっています。システム BIOS で[HP QuickLook 2]を無効にした場合、コンピュータの電源がオンになっているときにインフォ ボタンを押すと[Info Center]が開きます。コンピュータの電源がオフ、ハイバネーション状態、またはスリープ状態のときにインフォ ボタンを押した場合は何も起こりません。

詳細情報

[HP QuickLook 2]のセットアップと使用方法について詳しくは、[HP QuickLook 2]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

5 テンキーの使用

このコンピュータにはテンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

	名称	説明
（1）	fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
（2）	Num Lock ランプ	点灯：Num Lock がオン（内蔵テンキーがオン）の状態です
（3）	内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます（上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです）
（4）	num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lk キーを押します。fn ＋ num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボードまたはテンキーがコンピュータまたは別売のドッキング デバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使用して、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、fn キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピュータの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピュータの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の手順で操作します。

▲ コンピュータではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

6 タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインタが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピュータを使用するときは手をよく洗います。

⚠ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引